

令和 6 年度 事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

当館は、創立 50 周年を機に、改めて米山梅吉の我が国のロータリー活動に対する貢献を全国に広め、全国のロータリアンにとってロータリー精神を理解する場、ロータリー活動のシンボル、聖地となることを目指してまいりました。

今後はさらに「日本のロータリーの情報センター」と言うべき機能の一翼を担うことを目標として、幅広い情報の収集を行いつつ、社会奉仕、国際親善に人生を捧げた米山梅吉の思想普及に努めてまいります。

今年度は、この目標実現に向けた確かな第一歩とすべく、次の重点施策に積極的に取り組んでまいります。

1. 重点施策

(1) 収支の改善と安定化

将来にわたって記念館が有意義な事業を継続していくためには、経済的、人的基盤の確立が不可欠です。そのため、単年度収入の中期目標を 2,000 万円と定め、この目標に近づけるべく米山梅吉記念館コーポレーター及びフェローの獲得に力を入れてまいります。

また、寄付者数の増加は、一面では記念館の知名度の向上と表裏一体であることから、今期完了予定の展示室リニューアルと併せ、企画展の開催などを実施し、リピーターを含めた来館者の増加に努めます。

(2) 委員会活動の推進

以下の委員会活動を活発化させ、目標の早期達成に努めます。

① 寄付促進・広報委員会

・賛助会員制度の確立

申し込みから振り込み、名簿管理等をシステム化するとともに、賛助会員や継続寄付者等を対象とした顕彰などを検討、実施

・各ロータリークラブへの広報強化

館報のほか、記念館来館時、各周年行事、地区大会などの機会を通じ、寄付を呼びかけるとともに記念館を PR

・新たな情報発信ツールの開発

ホームページのリニューアル及び SNS による発信のほか、従来手法にこだ

わらない情報発信手段を検討、開発

② 資料整理委員会

- ・展示室リニューアルの実施
- ・企画展の開催
米山梅吉とロータリーの関わりに焦点を当てた企画展の開催
- ・書籍電子化の実施

(3) 50周年記念事業

当初、新たな書庫の増築と展示室のリニューアルを主要事業として始まった50周年記念事業については、寄付者の皆様のご同意をいただき、書庫増築を見送り、書籍、資料の電子化及び既存施設の整備を行うことといたしました。これらのうち、屋根樋の改修工事等は完了いたしました。引き続き、残事業に全力で取り組み、50周年記念事業の完結に努めてまいります。

(4) 事務局体制の改編

記念館の安定的な運営を継続していくためには、収入増加による経済的基盤の強化と同様に、組織的な対応を可能とする最低限の人員確保が必要です。

これまで記念館の職員については、最少人数により対応してまいりましたが、今後、記念館が取り組むべき課題への対応や職員の処遇改善を考慮し、常勤1名、非常勤2名による体制整備を進めます。

2. 通常業務

(1) 米山梅吉記念館の設置・運営、資料の蒐集、展示

- ① 米山梅吉及びロータリーに関する書籍、資料の蒐集。
- ② 蒐集した資料の整理、研究を進める。
- ③ 企画展の随時開催や映像展示の充実などにより、来館者への対応を拡充する。
- ④ 記念館周辺の施設案内などのパンフレットを配布し、来館者の利便を図る。
- ⑤ 一階ホールを移動例会場・研修会場として開放する。
- ⑥ ロータリークラブ全国組織、地元企業、近隣趣味サークル等への会議・交流の場としてホールの活用促進を図る。
- ⑦ ホームページやSNS、近隣市町の広報等を利用し、情報を発信する。

(2) 米山梅吉の思想を普及するための講演会開催及び印刷物の刊行

- ① 毎年2回（春・秋）米山梅吉の思想または公益に関する講演会を開催する。対象は一般とする。
- ② 春・秋の年2回、館報を発行し、全国のロータリークラブ及び関係者に配布する。
- ③ ホームページや館報などを通じて、講演会や館報の周知を図る。
- ④ 社会奉仕、国際親善の精神普及を図り、青少年の健全な育成に寄与するため写真集等を配布する

（3）米山文庫の運営

- ① 図書閲覧室を開設し、幼児から中学生を対象とした図書閲覧及び書籍の貸し出しを行い読書教育の普及を図る。
- ② 長泉町立図書館との連携を進め、地域の公立図書館事業の推進に寄与する。
- ③ 定期的な読み聞かせの会・カルタ会等を開催する。対象は一般とする。
- ④ ポスターやチラシ等を作成し、近隣自治体や幼稚園・学校に広報し、文庫活用の促進を図る。

（4）記念館の運営

- ① 組織化された業務執行体制を確立させる。
- ② 効率的な予算編成・執行に努める。
- ③ 運営に関する諸規定整備を進める。

令和6年度 事業計画（細目）

1. 例祭の開催

秋季例祭 令和6年9月21日（土）

春季例祭 令和7年4月19日（土）

2. 会 議

理事会 年3回

評議員会 年1回

運営委員会 適 宜

3. 地域ロータリークラブとの連携

- 1. 施設の定期的な利用による地域ロータリークラブ活動の支援
- 2. 施設環境整備奉仕活動を通じた連携の強化

4. 来館誘致事業

1. 来館クラブ・来館者への対応（学芸員・館役員・運営委員）
2. ホールの利用促進
移動例会、ロータリー米山記念奨学会の会議、研修及びロータリー関連の会議、研修の場としての活用の促進
近隣の趣味サークル等への会議・交流の場としての活用の促進
3. 周辺ガイドマップの活用

5. 運営費促進事業

1. 米山梅吉記念館コーポレーター制度の周知、募集
2. 米山梅吉記念館フェロー制度の周知、募集
3. 全国 34 地区 各クラブ周年事業等による特別寄附の要請
4. ロータリー米山記念奨学会への対応

6. 情報発信事業

1. ホームページの更新・整備
2. SNS の運用
3. 「ロータリーの友」、「ガバナー月信」等への情報提供及び掲載
4. 館報の発行（春号・秋号）及び発送
5. 米山梅吉研究会の企画・運営
6. 記念館関連の出版図書の販売
7. 米山グッズ・バナー・DVD の販売

7. 米山文庫の管理、運営

1. 米山文庫の運営
2. 文献事業の充実
3. 利活用の PR 及び促進

8. 書庫の整備・管理

1. 蔵書の拡充
2. 貸出要請への対応

令和6年度収支予算書内訳表
令和6年7月1日から令和7年6月30日まで

公益財団法人米山梅吉記念館

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用収入	10,000			10,000
基本財産利息収入	10,000			10,000
②特定資産運用収入	10,000			10,000
特定資産運用収入	10,000			10,000
③賛助会費収入	4,000,000			4,000,000
賛助会費収入	4,000,000			4,000,000
④研修補助金収入	2,000,000			2,000,000
研修補助金収入	2,000,000			2,000,000
⑤寄付金収入	8,000,000	2,500,000		10,500,000
地区寄付金収入	3,500,000			3,500,000
特別寄付金収入	4,000,000	2,500,000		6,500,000
施設寄付金収入	500,000			500,000
⑥普及事業収入	500,000			500,000
普及事業収入	500,000			500,000
⑦雑収入	110,000			110,000
受取利息	10,000			10,000
雑収入	100,000			100,000
経常収益計	14,630,000	2,500,000	0	17,130,000
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	6,120,000			6,120,000
法定福利費	600,000			600,000
福利厚生費	150,000			150,000
旅費交通費	1,090,000			1,090,000
通信費	600,000			600,000
事務費	290,000			290,000
記念館修理費	320,000			320,000
水道光熱費	1,540,000			1,540,000
普及費	700,000			700,000
館報発行費	1,500,000			1,500,000
記念館運営諸費	1,350,000			1,350,000
文庫運営諸費	400,000			400,000
委託費	2,500,000			2,500,000
雑費	140,000			140,000
50周年事業費	52,000,000			52,000,000
管理費				
給料手当		1,080,000		1,080,000
法定福利費		120,000		120,000
福利厚生費		30,000		30,000
会議費		400,000		400,000
旅費交通費		610,000		610,000
通信費		120,000		120,000
事務費		10,000		10,000
記念館修理費		30,000		30,000
水道光熱費		160,000		160,000
慶弔費		100,000		100,000
雑費		10,000		10,000
経常費用計	69,300,000	2,670,000	0	71,970,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 54,670,000	△ 170,000	0	△ 54,840,000
投資有価証券評価損益等				
当期経常増減額	△ 54,670,000	△ 170,000	0	△ 54,840,000

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
2. 経常外増減の部				
（1）経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
（2）経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 54,670,000	△ 170,000	0	△ 54,840,000
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 54,670,000	△ 170,000	0	△ 54,840,000
一般正味財産期首残高				403,064,651
一般正味財産期末残高				348,224,651
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
Ⅲ 正味財産期末残高				348,224,651

公益財団法人 米山梅吉記念館 理事会議事録

日 時 令和6年6月15日(土) 午後2時30分
開催場所 静岡県駿東郡長泉町上土狩346番地1
公益財団法人 米山梅吉記念館

理事・監事の出席状況

理事 総数20名 出席14名 欠席6名
監事 総数 3名 出席 3名

出席理事の氏名

松村友吉、多田幸雄、星野喜忠、細澤哲哉、鈴木 喬
松宮 剛、池田 修、安平和彦、足立功一、山口和一
滝澤功治、田中久夫、刀根荘兵衛、漆原摂子

出席監事の氏名

井口賢明、宮内正敏、久松 但

出席事務局の氏名

玉内 斉、實石 学

議事の経過の要領及び結果

事務局長玉内斉が司会者となり、本理事会は、定款第31条により過半数の理事の出席を必要とするが、本日の出席理事は定数を満たしているため、有効に成立したことの報告があった。

司会者が議長の選任を諮ったところ、理事長 松村友吉 を議長とするための承認があったので、松村友吉が議長となって、議事を進めた。

議長は、法令の定めにより本理事会の議事録を作成する必要があり、定款第33条第2項の定めにより理事長及び出席した監事が議事録に記名押印すると述べた。

第1号議案 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

議長は、本案を議題とし、その説明を求めたところ、事務局長は以下のとおり説明した。

事業計画については、収支の改善と安定化、委員会活動の推進、50周年記念事業、事務局体制の改編を重点施策として進めていく。

収支予算については、これまでの実績を基に事業活動収入を1,713万円と見込む一方、事業活動支出は、増員する職員の給与のほか、広報活動等に要する旅費や委託費を増額する。50周年記念事業費については、展示リニューアルや書籍電子化、既存施設整備などで5,200万円の事業費を措置する。

議長は、これについて質疑応答を経た後、賛否を問うたところ、出席理事全員異議なく、原案どおり承認可決した。

以上を以て議案の審議はすべてを終了したので、議長は午後3時5分閉会を宣した。

ここに決議を明確にするため、議事録を作成し、定款第33条第2項の規定により理事長及び出席監事が記名捺印する。

令和6年6月15日

公益財団法人米山梅吉記念館 理事会

理事長
(代表理事)

松村友吉



監事

井口賢明



監事

宮内正敏



監事

久松但

